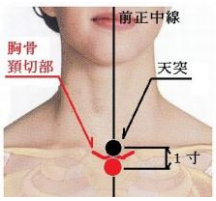
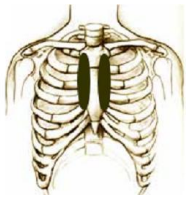
呼吸器の予防法に関して

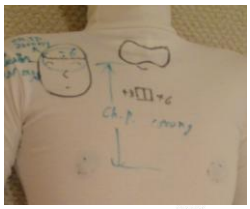
東洋鍼灸院　田中俊男

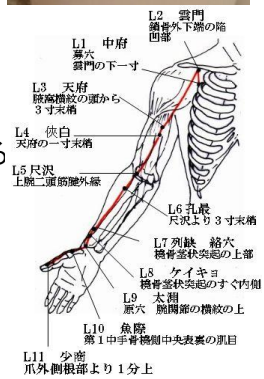
初　め　に　：BDORTを使うと呼吸器の症状がなくても機能不全をよく見つける。
「天突」のマイナスやクラミジア・ニューモニアの感染、「定喘」のこり、
肺経や原穴「太淵」のマイナス、肺の臓器を診るなど身体の外に情報が出ている。
一つずつ解説しながら呼吸器疾患をとらえ、予防の話をしたい。

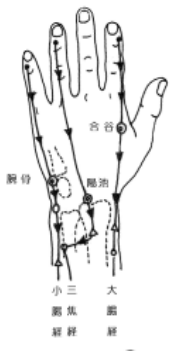
検　査　指　標　：1. 天突のマイナス
　　気管支などは胸骨の反応点
　　舌骨の下
2. クラミジア・ニューモニアの感染
　　呼吸器感染の根本
　　動脈硬化の話
　　他の臓器への感染
　　歯ブラシの話
3. 定喘のこり
　　喘息の反応点
　　なかなかとれないのどの違和感
4. 肺経の異常
　　孔最の反応
　　咳は尺沢や上尺沢
5. 太淵のマイナス
　　手首の原穴で経絡の異常を診る
　　中府の反応
6. 肺全体をボックスライトで診る

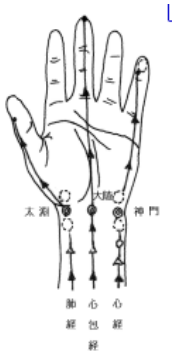
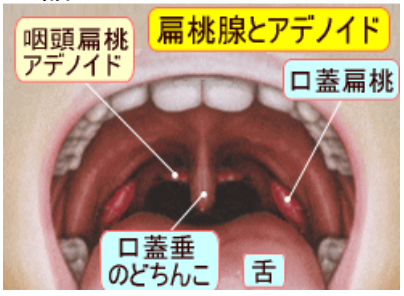
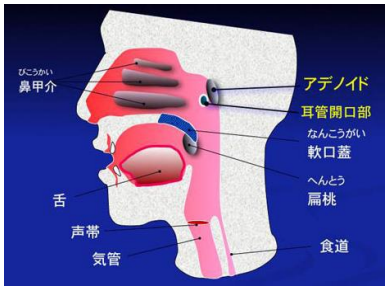












予 防 法 解 説：呼吸器の疾患は腸の異変としてとらえる。左大腸との連動
クラミジア・ニューモニアには藍か抗生剤、ツムラ19・29、麻黄湯など
歯周病菌のcheck
　　P.g.菌（Porphyromonas gingivalis）、A.a.菌（Actinobacicclus actino-mycetemcomitans）など
定喘の治療－実技
肺経や原穴のcheck方法－実技
肺全体をボックスライトを使って調べる－実技
乾布摩擦に関して－肺経を集中
龍角散、ベポラップに関して
腸の免疫を上げる－乳酸菌の飲み方－複数使用
耳鼻科での診察のコツ
アデノイドの話